



花野 天地子さん

今月は、「ボランティアハウス・ふくま」スタッフの花野天地子さんです。

皆さんは、ボランティアハウス・ふくまをご存じですか？

J R福岡駅近くの商店街の一角にあり、平成15年の開設以来、今年で10周年を迎えようとしています。

市民の皆さんのボランティア活動を支援し、その交流の拠点として多数の登録団体や市民のかたにボランティアハウスを利用いただいています。ボランティア団体の作業や会議、情報発信と収集、また一般のかたからの相談、月替わりの作品展示、コンサートなど発表の場を提供して、皆さんとの交流を図っています。

2月17日には、ふくとびあで「第9回ボランティア交流会」を開催しました。ボランティアの高齢化を考える講演を聞いて、「肩に背負っていた荷が軽くなった」「自然体で受け止め、若者に引き継いでもらう気持ちを大事にする」といった多数の意見が意見交換会で出ていました。この交流会もたくさんのボランティアによって成り立つもので、私たちボランティアハウスのスタッフは、その手伝いをさせてもらっています。また、交流会での市長の言葉にありましたように、市としてボランティアへの支援や体制の維持をいただきながら、これからもスタッフ全員で頑張っていこうと思っています。

どうぞお気軽に「ボランティアハウス・ふくま」にお立ち寄りください。



ボランティアハウス・ふくまの月替わり作品展に、お越しください。

◆4月の展示「男声合唱団メンネコール福岡 定期演奏会 写真展」
(撮影:西山光雄さん)
メンネコール福岡
期日 4月1日(月)から4月30日(火)まで

開館時間 10:00~18:00

休館日 日・水曜日

問い合わせ ボランティアハウス・ふくま
☎42・9071

郷育カレッジ公開講座



参加者募集



カレッジ生はもちろん、市内外問わずカレッジ生ではない人も参加できます！この機会に一度体験してみませんか？

たけのこ掘りに行こう！

たけっこパーク(福津市本木)には、たけのこが顔を出し始めました。春の陽気に誘われて、一緒に出かけてみませんか？！

◆日時 1回目 4月18日(木) 10:00~11:30
2回目 4月25日(木) 10:00~11:30

※例年、応募者多数のため、どちらか1回限りの申し込みとさせていただきます。

◆集合場所 市役所津屋崎庁舎または市中央公民館
※バスで、たけっこパークまで移動します。

◆講師 秋山賢一朗さん(郷育カレッジ生)、
郷育カレッジ運営委員

◆定員 各回25人

◆参加費 無料



申込方法 4月9日(火)までに電話・ファクスで申し込みください。
※ファクスの場合は、送信後にその旨確認の電話をお願いします。
※定員を超える場合は抽選となります。抽選結果についてははがきでお知らせします。

託児 あり(詳細は問い合わせください)

申込・問い合わせ 市郷育推進課(津屋崎庁舎)

☎52・4969 ファクス52・4469

第9回ボランティア交流会を開催しました!!

2月17日、ボランティア交流会がふくとびあ健康プラザで行われ、市レクリエーション協会による「フォークダンス」で華やかにスタートしました。最後の曲目では、参加者全員で手拍子やダンスを行い、笑顔あふれるオープニングとなりました。

次に、今村晃章さん(NPO法人NPO九州 理事)に「ボランティア団体の高齢化について考える」と題して、講演をしていただきました。講師が実際に受けた相談などを交えながらお話しいだき、より身近なものとして考えることができました。「高齢化」については、多くのボランティア団体が抱える課題ということもあり、皆さん熱心に耳を傾けられ、解決方法のお話では、「なるほど」と感心した様子が見受けられました。

また、講演後はグループワークを実施し、異なる団体のかた同士が講演を聞いた感想をテーマに意見交換をしました。初めて顔を合わすかたがたも、すぐに打ち解け、それぞれの活動内容を紹介したり、一緒に課題解決方法を考えたりと、終始、熱気と活気にあふれていました。



のぞいてみました



カレッジの講座風景

分別収集を究めよう

(2月20日実施)

講師 市うみがめ課職員

ごみの分別方法を学び、実際に出し方に悩むごみを、受講生同士で考え、分別収集の実践練習をしました。

受講者の声

初めて参加しましたが、大変勉強になりました。納豆のプラ容器の扱いなど、今までどうするか疑問に思っていたことも聞けてよかったです。



(公開講座) 冬野菜と季節の折り紙

(2月23日・24日実施)

講師 日本折紙協会講師 寺本 博一さん、郷育カレッジ運営委員

イオンモール福津で開催された市商工観光課による福津市PRイベント「福津の冬学校」に郷育カレッジも参加して、「折り紙教室」を行いました。



福岡女子大生記者がゆく!

自分の事として

私はこの1年、福津市に通い、多くのかたに出会いました。今、自分にできることをやり続けることで状況を着実に変えられることを教えてくれたのは、宮司の松林保全活動の皆さんでした。親だけでなく地域の大人みんなで子どもを育てようという心意気を教えてくれたのは、本町通学合宿の皆さんでした。こうした「地域を自分たちの手で良くしていこう!」と行動する人々の姿から私は何でも自分のこととして行動することの大切さを学びました。

皆さんに出会うまでの私自身を振り返ると、自分に直接関係のないことは「誰かがやってくれるだろう」と他人ごとでした。どこかで自分以外の誰かのために苦労している人がいることに、そして、実はそんな人に支えられていることに気づかずにいました。福津市の皆さんは、私がいかに自分のことしか考えていなかったのかを気づかせてくれました。

この1年で出会った皆さんのように、自分以外の誰かのために行動できる人になれるよう、どんな課題も自分のこととして捉えて行動していきます。福津市の皆さん、1年間本当にありがとうございました。(坂井 絵理)



ふるさとメッセージ



かわら版 Vol.98

「郷育」の「郷」は、ふるさとや地域、自分たちの住んでいるところと考えています。そして「育」は、その地域によって育てられ、また地域を育てていく姿をイメージしています。

郷育推進課 ☎52・4969

満員御礼!!
来年度講座も
熱く郷育魂で企画

